

区段

- 【Track1】玉嶺山 2
- 【Track2】咲鐘山 5
- 【Track3】トーレの轟 8
- 【Track4】トーレの終点 13
- 【Track5】山口トーレ 16
- 【Track6】山中湖 20
- 【Track7】山中湖 235
- 【Track8】メタニ 44
- 【Track9】長瀬の轟 50

# 【Track1】玉奈

【魔界/魔界】魔界/魔界

魔のマーラ・ローベニア

少女魔王、この居酒屋で働き始めてから一週間程  
まだ慣れない  
おお、いかつしゃまむかー

ん？ お主は一人か？ 席は？ そりゃな……うむ。やつのカウンター席に座ると良いや  
お通しとやらを持つてくるからな、腰かけて少し待つておるのじや  
すまぬすまぬ、またせたな  
よし、では吾輩が直々に注文を聞いてやるといよ  
苦しう無じや、さあそこのメニューから注文を選べとよ

ん、どうしたのじや？ なんじや、その顔は 吾輩の顔に向かつておるのか？  
え？ 吾輩の話し方がおかしいじやと？

【魔界/魔界】

あつ……そりやつた、しまつた

……まだクセが抜けんで、油断してくるとつらつも通りの調子で喋つてしまつたのつ  
えつと……うつ、うつときほんどうじやつたかの？..

オホンつ  
わ、わたくしが、注文を伺つてやつましょつ……？ ……か  
うつむ……？  
え？

もつと、おかしくなつたと叫ぶのか？  
うつむ、どうもまだここに言葉には慣れぬな  
ん。何じや、その珍獣でも……西の泉のユーローンでも見るよつた顔は  
んんく？..

フフフは格好つけた感じ、アハハは普通の女の子  
魔王の自分と人間社会の自分が混在しています  
その後年上として、偉そうに説教します

ふふふつ、あははつ

ああ、すまんすまん

いや、なに。先程までのお主はドワーフンに村でも焼かれたような悲惨な顔をしておつたからな  
だいぶ明るい顔になつたな。良く分からんが、少しでも元氣が出たようで良かつたぞ  
今日は何か嫌なことでもあつたのか？

吾輩の経験からも言えることじやがな……、

どうしようもない、自分の力ではどうにもならぬと思う様な事があつても、案外なんとか上手くいくものじやよ  
この世界はそこまで残酷に出来ていない、という事じや  
「グードラシルの枝は硬い、よく言つたモノじやな  
うむ。なに、年長者からの金言といつヤシジヤ。キモにめいじておへと良いが  
へ？ 子供に見えてるじやと。

失敬な……！ 見た目で判断するでないつ

吾輩はこう見えても……、と。

つて、

ああ、そうじやつた。注文、注文！

焦つて少し早口になる

こんな所で油を売つていたら、また店長殿に叱られるわい  
今日はこちらの、本日の刺身がオススメじやぞ  
店長殿がわざわざ早起きして港に仕入れにいつたという話での、  
吾輩もさつき端つ」を失敬してみたが、コレが美味でのお  
極北のポルトウーズ湾の海鮮に勝るとも劣らぬ逸品じや  
食べてみる価値はあると思うぞ  
ん、何々。

決まったのか？

メモするから待つておれよ

ふむ、ふむふむ。

それと、それと、それかつ  
よしよし、分かつた！

そのオーダー、この吾輩がうけたまわったぞ  
それではお主、しばし待つておれよ、

## 【Track2】呑飽きた顔

【母】

顔見知りになつて馴れ馴れしくなつてします  
ねね、お母また来てねのなか  
金の手といふやつ

【母】

うむ、今日まじれかひハムトなんじやよ  
注文は、済んだのか

注文票を見ていふ

ふむふむ

ちよつと待つておれ

時間が空く

【母】

待たせたの

からかう様な口調で

ほれ、「」れが、注文の呟じやな

しかし、なんじや、お母。また居酒屋で夕食か?  
お主、「」のど「」の頻繁にウチの店に来るのう

そんなに「」の味が気に入ったのか?

外食ばかりでは身体にも悪かろうに

一緒に食べる仲間は居ないのか?

寂しいヤツじやの「

まあ、そういう吾輩も一人なのは一緒にがな

確かに、一人で飲むなら「」は懶やかで良いのかもしけん  
ん? 吾輩か?

ああ、ちと理由があつて「こちらに越してきたばかりでのうこの街に来てから……、そつじやのう、もう一年ぐらい立つからほら、お前が初めて来た日の少し前の事じや

住むあても仕事のあてもなくて途方に暮れていたといひじやつたからな吾輩を拾つてくれた店長殿にはとても感謝しておるよん?なんじや?吾輩の身の上話が気になるのか?

興味を持たれて嬉しかつたが、この間で成り行きを説明するのが面倒くさくなります

……ん

まあまあ、吾輩の事は良いではないか

そういうお主はどうなんじや?

初めてまみえた時より大分顔色や面構えは良くなつた様じやが仕事の方は上手くいつておるのか?

ふうん、なるほどのう

人間というのは大変なんじやな

うむ、感心じやな。下働き」「苦労つ

ところで、お主、最近よく顔を出すが、この店に住処が近いのか?

ふむふむ

そつて、あそこのことじやな?

そうかそうか

ふうん

ん?なんじや?

え?注文してない料理があるじやど?

この卵焼き?

ああ、そつじやつた

これなんじやが、吾輩が作つてみた料理なのじや

最近、店長殿に言われて厨房にも多少入る様になつてのう。

ちよつと焦げてるが、味は変わらないハズじやよ?

店長殿の田を盗んで入れた、根菜……?的なモノが隠し味じや!

名付けてメリディエス風、卵焼き風、デスバレーのマドゴンドラ風、じやつあ、もちろんお題は頂かぬから安心して良いぞ

……吾輩が直々に作ったのじゃから、ホントは「万ゴールドほどのハズじゃがな

さあさあ、味見してみよ  
吾輩の白信作じやが

【近/画面】

……どうひいや。

おいしい? 美味いか?

えへへへ、良かつた

客に出すなら最初にお主に食べて欲しいと思つての

あ、練習台にしやす」という意味じやが

あ、おつと、お主と話していると世話を思い出すついで話してしまつのが  
では、吾輩は仕事に戻るぞ! -

【中/画面】

あ、お主の事は「これからも練習台にしてやるから

まあ、今後とも」「ひいきによろしく頼むぞ」つ

### 【Track3】トーマの説明

【A面/先】

自信満々で良し知りが返つて「」とを確信してくる声色  
「」や。

吾輩の卵焼も、結構上手になつてました」とやつ。  
もうそんなに焦げてないし、形も崩ほじ悪くなじゅうやつ  
最近、忙しくない時は他の客にも出すよつになつてました。ひどい  
心底意外そつた声色で

【B面/后】

え？ 「んなじ上手くできてる」とタダで貰つて申し訳ない。

タダなわけなかつたが。」の吾輩の卵焼きや。

せん……、先週辺りから普通に請求しておるからレシートを見てみると良じや

頼んでないのにひどいやつ。

黙れ！ お主も美味しい美味しい食べといたじやねつが！

……まつたく。

ソロソロしてくる主人公に気がつく  
ん余詰か？

注文票を、わざと待つておれ……

あれ、違うのか？

んん、どうしたや？ なんじやそんなに、急にあつたまつて  
クリスマスデーとが浮かんで」ないので、主人公が何の為に聞いているのか理解出来ていません  
え？ クリスマスの予定じやと。吾輩のか？  
……クリスマスつて、たしか……来週か

うむ、確かにその日はバイトも無いし予定はないが  
それがどうしたのじや。

一緒に出かけよいじやと。

吾輩と？ お主の一人でか？

二人で……、クリスマス……

「」で主人公の意図に気がつきます  
でも、確信では無く考えながらといふ感じです  
考えていると、想像して段々楽しくなってきます  
あつ

ふ、ふむ……

そ、そ、うじやな、ちと樂しそうでは……  
でも自己魔王だし……メンツンとかあるし……と悩みます  
しかし、うむ……  
ううむ……

悩みすぎて腹がたつてきます  
ああ、もいつ……

A/  
絶句

お主、ちよつといつちへ来い  
良いから来るべじや！  
そうじや、トイレじや  
ん？ 何じやその顔  
何かよ「しまな事を考えていいないか？  
ヒミツの話があるだけじや！  
いから來い！

B/  
近

よし、念の為鍵をかけて、と……  
ふう、お主には「の姿を見せるつもりは無かつたのじやがな  
驚いて声をあげるでないぞ

「からす」し真面目な口調  
ふり、ふり、ふり……

じ、じ、じや。見よ、「」の黒き堂々たる角を  
「の姿を「」からの人間に晒すのは初めてじやな  
分かつたであつ。お主と吾輩とは、けして相容れぬさだめ……

お主は鈍いから想像もつかなかつたじゃろうが、

吾輩の正体は「この世界と異なるコトワリの別世界……

いわば……そうじやな、異世界から来た魔族の王、魔王なのじや

今は訳あつて、「こんな情けないチンチクリンな姿じやがな

かつては魔界の四方を束ね、歴代最強とうたわれた

ダウスタラニスに霸を唱える魔族を束ねし大魔王なのじやつ

……ん、どうじや、恐れいたであらう？

威厳が伝わらない事にショックを受けている様子で

あれつ？ お主、なんでそんなに嬉しそうなんじや？

魔王じやぞ？ ちゃんと聞いておつたのか？

歴代最強じやぞ？ ダウスタラニスの霸者じやぞ？

偉いんじやぞ？ 怖いんじやぞ？

マウントをとりたかつた反面、  
怖がられたら悲しいな、という気持ちもあつたので安心します

……ん、ふふつ

全く気にならない様子じやな

呆れたわ。この話を聞いても吾輩に対する態度が変わらぬとは  
全くもう、仕方の無いヤツじやな

ふふふ

思い出した様にわざとらしく

自分はそんなに意識してないし興味無いけど、と強調したい

ああ、なんじや

なんだつたかのう

クリスマスにデエトしたいという話じやつたか？

勇気を出したのでちょっと声が震えます

よいぞつ

照れ隠しに早口で

あつ、ただしじゃ、吾輩が魔王といつ」とを知つた以上、敬意と畏怖の念を払うことはやめゆめ忘れるでないぞ

誇りを持つて吾輩をエスポートするように  
こんな名誉、シャドウ・パレスの四天王にも与えた「とがないのじやで  
吾輩を退屈させぬように最大限の努力を見せる」とじや  
ふふつ

……だがまあ、お前と行くな、い「でも樂しそうな氣がするが、のう  
んひ、なんでもないわ  
何も言つておらん

焦つて早口に

あいつ、しまひた

店長が呼んでおる

それじや、この話はまた今度じや  
怪しまれぬよう、少しこんだらいいと出るい良いぞ

【迷図】

白々しく、嘘が下手な感じで

すまぬのじや店長殿

え？ ど、どどど、トイレにておひただけジャヤ四  
そう、そづじや

うむ

雑誌のことと思ひ出すして、少し早口に

あいつ、店長殿

こないだ店に、客が忘れていた雑誌、まだ残つておるかの？  
ほれ、昨日の……その席の

上機嫌が隠せない感じで

キラキラしたクリスマスツリーが表紙の  
そうそう、データースポットとか載つてたヤツじや  
あ、やつた

そしたらソレ、もつ貰つてひつてよいかの？  
ほんとか……

‘નિર્ણય, આજૈન

## 【Track4】ヒートの終わり

【近】

ウキウキしています

あははつ、ふふふ、うつ

クリスマスツリー、キレイじやのへ

キラキラ、様々な色に輝いて

吾輩の居た世界の言葉では表現出来ない美しさじや

【近】

なあ、今日は楽しかったのう！

お主と出かけて、正解だったのじや

また機会があれば、こうして一緒に遊んでやつても良いやつ

独白です、魔王として遠くを見てつぶやくように

ふう~

「うちの世界は楽しい事でいっぱいなのじや

こんなに平和で愉快な世界じやつたら、魔族と人も争わずに、一緒に暮らさせていたのかもしれないのう

吾輩を倒した勇者のヤツは女とあれば見境無く襲うようなどんでもないヤツじやつたが

人間という種族でも、あるような下劣な輩は本当に一握りなのかもしれぬな

もし、吾輩に向こうに帰れる機会があつたのじやつたら、魔族達を再び率いてこんな世界を手指してみたいものじやのう

……人間どもとも和平を結んで……

神など信じておらんが

仮に居るとしたら、それが吾輩に課せられた使命というヤツなのやもしけぬな

元に戻る

独り言を聞かれて、ちょっと恥ずかしい

ん、いや。なんでもないぞつ

あれ？ なんじや、真剣な顔で改まつて

……え？ 付き合つてくれ、じやと？

分かつているけど不安だから直接聞きたい

そ、それは。ど、どつ、う意味じや？

……う、お主には言つたはずじやぞ、吾輩の正体を  
う……う。

焦つて照れ隠しに声を荒げる

だ、だだだだ、ダメに決まっておわづ

こ、「の吾輩の恋人など、お主」ときには1000年は早いわ！

後悔する

あつ……、うつ

そんな顔、するでない

な、何をそんなに落ち込んでいるのじや  
説教口調だが、少し焦つている

【画面/慈着】

話は最後まで聞け

サラマンダーの炎が消えるときはその生涯を終える時、じやぞ。昔からいつに言つてじやひつが  
んつ

少し屈め

いいから。命令じや

大体お主はいつも、頭が高いのじやつ

背伸びしてキス

んづ、ちゅ

……ん

恥ずかしくなる

んづ

魔族の王たる「の吾輩と

人間風情の貴様が対等に恋人などとは、片腹痛いわ

お主と吾輩では……、文字通り住む世界が違うのじや

……んづ

【画面/近】

考えながら

じやが、じやがじやよ

ばやぼそと叫う感じで

「の世界での吾輩のシヤべ、その一聲と二つのなら別に構わんぞ  
あくまでも、しもべだからな

吾輩の方がエライし、吾輩の側からかつてに命令無しに離れる」とは絶対に許さん  
解答を聞いて、不安が無くなつて幸せそうな声色  
いいのか……？ それで  
いいのか。そうか、そうか

ふふん、ふふつ

ふふふつ、ふふつ

嫌われたくない一心でガマンしていたワガママな部分が解放されます  
ウキウキハイテンション

近/近

そ、そ、うと決まつた、

早速命令じや

吾輩はもつと行つてみたい所があつての  
今日は不眠の覚悟で付き合つて……、一緒に居て貢うぞ  
まずは、「の雑誌の……、」「じやん?  
なんじや、その顔は。  
当然、今からじやぞ

ほら、早く吾輩を連れて行かんか！  
ふふふつ

落ち着いて肌恋しくなつた

……んん

ちよつと、待つのじや

【密着】

寒い

寒いから、ぎゅーっとしる

命令じや

黙れ

命令じや

## 【rank5】プローテーク

### 【画面/密着】

トライック4から9ヶ月、セックスも普通にする関係  
正常位でしています。行為を始めてからそれなりに経っています  
話ながらも、息が荒い感じで

んつ♡ んつ♡ あんつ♡ んうつ♡ ふつ♡ はんつ♡  
んふふつ、ん♡

…命令じや、キスつ

ん、ちゅ、んあつ、あつ♡ んう♡

んつ♡ んつ♡ んつ♡ 出でう、か？

ふふふつ、いいぞ、そのまま中に出すのじや

あつ♡、ああ♡、あ♡、ああん♡、あ♡、ああつ♡、あつ♡、ああ♡、ああん…つ♡

主人公射精

上がった息をゆづくらなうす

ん、……ん、……ん

：はあ、はあ、はあ、はあ、  
はあ……あつたかい

お主の精液、あつたかいのう

……え、中に出して良かつたのかじやと…

【近/画面】

深呼吸して、息を整えてから

ああ、その「ことなんじやが

最近な、精液には魔力がある」とこ<sup>ト</sup>に気づいた<sup>べ</sup>じや

吾輩は魔力を失つてしまつたと前に言つたじやろ?

隠語は言つのが恥ずかしい

「つして、お主と……すれば、のつ

魔力が溜まつてきて、元の力を取り戻せると思つのじや

自分に言い聞かせるように

何度も、何度もすれば、あるいは不可能じやないはずじや……

へ?

だから頻繁にエッチをしたがつてたのか、吾輩の性欲が強いのかと思つてた、じやと。

ぶ、無礼な事を言つヤツじやなつ

早口で、噛んでも良い

スマキにして煮えたぎるモンス・ウルカニウスの火口に投げ込むぞつ

言ひ出しづらいけど迷いながら口を開く

……ふう

だが、じやな

これは言おうか迷つておつたのじやが

そうして得られる魔力は薄くて、とても微量での

今そのままお主から貰つているだけじやと、何十年かけても元の世界に戻る程の魔力はたまらないのじや

魔石を取り出しキラキラした音

これを見るのじや

綺麗な石じやるう。

これは、吾輩に溜まつた魔力を可視化した……大魔石と呼ばれる結晶じや

この結晶一つに、お主との……およそ100回分以上の契りで得た魔力が込められている

今日の交わりの分で、やつと「れが作れたワケじやが帰るための魔力となると」「れが何十個も必要なの」じや。

この世界も嫌いではない

だが、吾輩もできるならば前いた世界に戻りたいのじや  
仲間を……、魔族達を置いてしまつことになつたから、のつ……

吾輩にも、王としての責任があるからな

言おうかすぐ迷う

主人公が自分の事を軽蔑しないか、不安で仕方が無い

それで

ううつ

それで、なんじやがな

ナンチヤツテみたいな冗談を言うよ的な上ずつた声

それで……、少し考えたんじやが……、他の男の精液を貰つてみるといつのまじめにやうか?..  
あつ……、書いてみただけじやよ

お主が嫌だつたら吾輩もイヤじやし、吾輩としても……お主以外の男とするのは……イヤじや  
ただ、そういうのはどうなんだろ、つて思つてのコドじや  
他にも方法は、今は思いつかないが、あるはずじやしな

聞いてみただけじやよ

そ、そんなに本氣にするでないぞ  
半分冗談の話じやからな

え? いいのか? は? むしろ、逆に興奮するじやと?  
すごく安心して息をつきながら

なんなんじや、お主は  
言つてみようか、すぐ悩んだ吾輩がバカのようじやないか

……お主が悲しむんじやないかつて、吾輩はずつと考えて悩んでいたのに……  
しかし……それじやつたら……、一度くらいは真剣に考えてしてみるかの……  
こんなにあつさりOKとは思わなかつたら何も考えていない  
焦つて何か言わなくてはと語り出す

えつと、そうしたら、やうじやな

吾輩じゃつて何度もするのはイヤじゃからな  
試しに一度だけしてみることにするかの

魔力は口でも吸収できるから……もちろん口でして  
なるべく魔力を持った人間も探したほうがいいのう

主人公のスマホを覗く

ん、なんじや？

パパ活アプリといふのか？

ふむ……？

なるほど、これを使えば確かに

簡単に相手を探せるかもしけぬのう

ふむふむ

ふむ……  
想像して、なんだか悲しくなつてきた

不安な気持ちも増していく

ちよつと待つのじや

「の話は、また明日にせぬか？

……うつ

ぎゅうつてしろ。命令じや

何度も言うが、魔力の為じやからな？

元の世界に戻るためなんじや

……吾輩の事、嫌いになるなよ……

命令、じや

## 【Track6】やれやせ寝取らせ報告

### 【E】

最初のパパ活を終えて帰ってきた主人公との約束の時間から遅れているし、しないと決めていたキスや本番までしてしまったので怒られないか、嫌われないかすごく不安でも、それを出したくない(演技が下手なので確実に出ている)ただいまは寝ているかもしれない主人公を起さない様に抑えているた、ただいまなのじやっ

### 【F】

あつ……、お主……  
まだ起きておったのか?  
もしかして吾輩の」と、待つておつてくれたのか……?  
その、すまぬ

約束の時間から、大分遅れてしまつたのじや  
目を泳がせながら、「ゴーリー!」  
う、うむ

その、なんじや  
色々あって、な

うむ、してきた、ぞ

魔力を得るために

お主以外の男の精を、受けってきた  
口に出したら思い出してしまった  
大分気持ち良かつた。罪悪感を覚えて目を合わせられない

……んつ

……うう、やはり、あつた」と全部、お主に言つた方が良いのか?  
吾輩としてはじやな、その、うう……  
いや……だが、そうじやな……

これも全ては魔力回復のため、残してきた同胞達の為じや  
吾輩は……けつして、やましい」となどしておらんのじやからな  
お主に話してしまえば楽になるかもしけん  
少し焦つて、こん願する

……でも

その、話しても……な

頼むから、吾輩の事……嫌いにならんでくれよ?

意外すぎて引きながら、混乱  
なんなんじやは少し泣きそう

……え

は? 話しながら……手でしてほしいじやと……?  
吾輩が他の男とした事を聞きながら、んつ……  
お主、おちんちんを触られたいと囁うのか?  
もう、なんなんじやお主はつ……

……んん

わかつた

吾輩も今は……お主とじやれついていた方が、その、安心するから  
そう考えたら、嬉しい申し出なのかもしけん  
困惑しながらも、早く終わらせたい  
ほれ、じやつたら  
そこに横になるのじや

よし

下、脱がすぞ  
んつ……しょ

責める様に

……勃つておる

お主、吾輩がされた」と想像して、「」勃起させたのか?

……ふつ、まあよい

【お】淫乱】※腰あ

「これでよいか?  
お主の、触るぞ

帰つてきたばつかりじやから  
手、冷たかつたらすまぬな

触つて、少し声がやわらぐ

……ん、あつたかいのじや……

最初は、揉むみたいにすれば良いかの……?

ああ、選んだ相手の話なんじやがな  
言はずらそつに話し始める

この間のパパ活アプロチ、うヤツでな、丁度いい相手を見つけたんじや  
勇者じや

吾輩を倒した勇者を募集中のリストの中に見つけたんじやよ

そうじやよ、吾輩の世界におつた勇者じや

吾輩と戦つた後、こちらに戻つて来ておつたんじやな

自分にも言い聞かせる様に  
気持ち良かつた自分が少し許せない

も、もちろん、あやつの事は大嫌いじやよー

こんな事になつたのも元はと言えば全てあやつのせいじやしな  
だが、勇者であれば……魔力の回復にはうつてつけ

これ以上にないくらいの人選じやしな

結果、違つたけど言い訳っぽく言つ

それに、「こちらに来てお主に会つて……

色々な人間と関わつて、あんな奴でも……

あつ、だが安心すると良いや  
もしかしてちゃんと話したら勇者のヤジともわかり合えるのかも、とも思つたのじや

勇者といつても、あやつはまるでモンスター……トロールの化け物みたいな見た目の中年男じや  
吾輩が心を奪われる等と云つては……方に一つも……ない  
言つてからありそつかもつて思つて、震えた声でもう一度云つ

ないやつ

ど、ともかくじや

吾輩の、魔力を集める目的などあやつには分からぬはず

「」は……

そつ！ ヤジの「」と利用してやつと思つての

話を変えたい。早口に、少し白々しく振り返る

勇者のヤツ、吾輩に会つて……とても驚いていたのじや

「ちから」の世界に吾輩が来ているとは知らなかつたらし、  
向こうの世界では倒したら抱いてやろうとツバを付けていたのに

消えてしまつて残念に思つていた……等と抜かしておつたわ  
正直、そんな目で見られていたとは虫睡が走る思ひじやが……、今の状況にしてみれば一度良い

勇者の様な強い男に抱かれるならメスとして本望へ等と適当を云つての  
とりあえず一回だけという約束じやが、抱いてもらつ約束をとつつけたんじや  
やれやれと、ため息まじりで

あやつめ、目の色を変えて喜んでおつたぞ

場所は……「」から少し行つたところにある、ラブホテルとやつじや  
ほら、吾輩が働いてる居酒屋の近くの。

うむ

ああ、あやつが案内して連れて行ってくれたんじや  
え？ 吾輩の小さな見た目で良くな入れたなつて？

ああ、勇者は洗脳魔法も使えるから

……あの外道……

向こうと同じで、こちらでもやりたい放題やつて、いのよつじやあまあ……そもそもなればお前の言うとおり、今の吾輩の見た目では子供扱いされてホテルにも入れなかつたであろうなあやつと今の吾輩を見比べれば普通に親子……父親と娘ぐらいの体格差があるからのう吾輩がすぐ側に立つて目を合わせると、見上げすぎて首が痛くなるへりじやよ？あやつの容姿も相まって、どうか、ひどく見ても犯罪に見えるじやろ？少し語氣を強める

何をしても怪しまれない事を良い事に、あやつめつ

受付の……フロントのボイーの前で吾輩の尻を堂々と揉みしだいてきおひたんじや……！信じられるか、人前で、下着の中に指まで入れてきおひたんじやぞつ……！もちろんすぐに振り払つたがな、吾輩も虫唾がはしつたぞ

最後の『がらがら』は失敗してるので言いよどむ

あつ……もちろん、魔王である吾輩にはそんな低級洗脳魔法など効かぬから、安心してよいぞもし、変な事をされたらお主と溜めた魔力を使ってでも逃げる」とも考えていたから……の少し『信じられない』といつ口調

……ん

……うう、お主、一こんなに硬くして……

そんなんに吾輩の話で興奮したのか？

吾輩、すぐ不安だつたんじやぞ？

分かつておるのか……ん？

……ふう、お主にこんな趣味があつたとはな

吾輩が相手じやなかつたら、嫌われていたかもしれんぞ？よし……

では……そろそろ、手、動かすぞ

早さ、これくらいで良いか？

……うむ

思い出すように短くうなつて

……ん、それから部屋に入ったワケじやが

あやつめ。見た目通りのケダモノじやつた

フロントの一件で分かつてはいたが、とてもわかり合えるような存在でないとすぐに思い知らされたぞ  
部屋に入るなり、いきなり吾輩にキスを迫つてきおつたんじやぞ？

ぬめ、テカい身を屈めて、吾輩の身体を気持ち悪く抱きしめて、「うつ……まあぐりながりじやつ  
も、もちろん、断つたぞ

結局その後しゃつてるから少し上ずつた声で「」まかす  
当然じやつ

吾輩が唇を許すのはつ

……んつ

……お主、のみじや  
決まりが悪いから少し早口に、嘘がばれないか不安で沈黙が怖い

吾輩の拒否など興味も無いように、あやつ

鼻息を荒くして、吾輩の肌に舌を這わせてきおつての……

あやつとはかなり体格差があるから

吾輩は唇の貞操を守るだけでいつぱいいつぱいじやつた

首筋とか、胸とかお腹とか……

ベロベロベロベロ……

こんな小さな、少女の身体の吾輩をじやざ?

美味そうにベロベロベロベロ

あやつ、絶対にロリコンなのじや

もう、ずっとと鳥肌が立つておつたわ……！

しかも、あやつめ

舐めながら……いきなり吾輩に勃起したものを見せつけられおつた

自分の手でねぶりながら……

その……吾輩が知つてるのはお主の「れ……

お主の大きさぐらいいじやつたから、かなり大きくてビックリしてしまつたの

手を止めて、ハツとなる

あ……、すまん

大きさを比べるのは、デリカシーが無かつたかの  
だが、お主のが小さい等言いたいのではなく、あやつのが大きすぎるといつだけじゃ  
思い出しながら、早口に無感情に言い切つてしまふ

え、そんなに大きかったのかじやと?

ああ、今のお主の口と比べると……

お主の倍かそれ以上はあつた、じやなからうか?

血色良く……ガチガチで……筋張ついて……

見ただけで魔力がたぎつてしるのが分かつたわ

沈黙、話が止まつてしまふ

目を合わせない

そこから何があつたか言わざるおえなくなつて、『ひまつた』となる

ふむ

……ん? それで、どうした? ……じやと?

上ずつた声で、簡潔に言つて逃げようとする

それで……、吾輩は……それを、しゃぶつたんじや  
え? いきなりか、じやと?

言い訳は少し怒つた様に

【近】

し、しかたがないじやろ。濃厚な魔力があふれていたし……  
身体が……

そうつ!

気がついたら、口の中にあやつのアレがあつたんじや!  
ヤツの、洗脳……、魔法の一種、なのかもしけんなつ!

ううつ、吾輩だつて、嫌じつたよ

相手は吾輩が世界で一番嫌いな男じや

しかも、シャワーも浴びておらんかつたから、口の中が生臭くて  
苦くて、しようぱくつ……

うう……

自分で言つていて分からなくなつてきた

なんか悲しい

だから……嫌じゃよ

当然、嫌なんじや

嫌なハズなのに

【翻訳】※謹み  
が

しゃぶつただけで身体に流れ込んでくる濃い魔力を感じて……  
しゃぶるの……

止まりなくなってしまったんじや

ささやくように

お主の「これの、何倍も大きいあやつのアレ

口の中でピク。ピクして

絶対違うのに

美味しい、美味しい

幸せ、幸せって思つてしまひて

あやつのアレを舐め回して、口の中でふやかして  
汁をすすりて、止まらなくなってしまったんじや

沈黙

ぱつぱつと語りを再開

そしたら……吾輩が、していたら

あやつ、吾輩の事をへたくそと笑つての

これからの方に、しこんでやるつて……口の奉仕の作法を、フエラの仕方を偉そうに教えてきたんじや  
たしかに吾輩は、その、今朝まではお主しか男を知らんかったからのう  
腹は立つたんじやよ、でも、その時は精……魔力が欲しくて  
腹は立つたが、その……素直に、教わる事にしたんじや  
うむ、そうじやの……

わがはいは唇の使い方が単調らしくて……

なるべく手を使わずにしゃぶれとも言われたの  
なるべく、こう舌を使って……

裏筋を刺激したりするんじや

吾輩も、その魔力が、欲しいから  
言われたとおりに頑張ったんじゃがな

ヤツに鼻で笑われて、角を掴まれて

こう、無理矢理アレを口の中に押し

こう、無理矢理アレを口の中に押し込まれたり、引きずり出されたり、むりやり奉仕をさせられたんじゃ

まるで道具みたいに

吾輩の口、使われてしまつて

## 語気を強め

だ、だがコツは掴んだハズじゃ

言つとおりに舌は使つていたら、やつめのど奥にまつておつての

そのまま、射精したぞ

そりぢや、吾輩の口の中で

二  
五  
三  
一

ハナリで見る相

精液も凄い量での

お主の倍では効かぬ

飲みきれなくて、えづいて口からこぼしてしまって程じやつたわ

セ、口の中がたいへん生臭くて……

「いや、馬鹿、出されただけで……」

語り出しがづく

うえつ  
ん

話題を変えたい

その一回の射精だけで、お主の10回分ぐらいの魔力が回復したんじゃ  
こぼしてしまった分も考えたら……もっと効率が良いかもしけんのつ

沈黙

言ひすらひやうに……

んひ……

そ……その後、の……

それで終わりの……

い、一回だけの予定……だつたんじやが……な?

それで……魔力の回復も予想以上だつたものでじやな

それであやつがどうしてもと言つから

その後も……した

……な、何をじやと……?

それは……その

沈黙 白々しく、平静を演じるよう

【近】

セックス、じや

で、でも、魔力はたくさん回復したぞ!

膣に、男性器を挿入して、直接体内に射精してもうのは一番回復効率がいいからのつ  
そ、それに、あやつに迫られてしまつて、断れなかつたといつのもある……!  
うう……そんな目で……見るなつ……  
す、すまぬ……

でも、魔力の為なんじやよ?

え……その時」とも……言つのか……?  
うう……そうじやな……分かつた

感情なく言い流し、失言したと思う

【近】

その……な

あやつの精液を口で受けた吾輩は、その……絶頂してしまつたんじや  
あ、違つ  
き、気持ち良かつたとか……そつ言つワケでは無いやつ

言葉のあやと云つヤツジや  
魔力が急に回復しすぎて、ふわふわうつてなつて、頭が真つ白になつてつ……  
身体の力が抜けてしまつたんじや  
勇者のやつ、それで伸びてる吾輩をベッドに運んでの、服を脱がしてきたんじや  
体中を観察されて、舐め回されがらの……  
も、もちろん

吾輩もただそうされていたワケじゃないぞつ

割と受け入れてしまつていて、そんな事考えて無かつたので嘘  
嘘を考えながらつまりつまり話す  
吾輩も、魔石で……テレポート呪文を、唱えようと、していたんじや  
して、いたんじよ  
でも――

### 「」から本音の証言

#### 後悔と懺悔

気づいたら、あやつのアレが……  
さつき出したハズなのに、まだガチガチの  
あやつの……それが……  
吾輩のあそ」に……触れておいつての  
精液で、ぬめぬめしてたから……  
触れるだけで、魔力が流れ込んできて  
……吾輩、また……、頭真っ白になつて  
……よく……、分からなくなつてしまつたんじや……  
身体が、ぐうつ、て反つて  
よだれが、たれちやつて……  
ヒクヒク震えてる吾輩を見下ろして

あやつは笑つての  
入れて欲しかつたら、ねだつてみろつて  
聞かれて、しまつたとおびえる

「」は言いたくなかった  
ねだつたのか、つて  
あ

声を震わせながら弁明  
う、演技、じやよ……？！  
ヤツから魔力を貰う為のつ……  
いれて、いれてつて……

吾輩、言つたんじや  
そしたら……あやつの  
あやつの、まだ精液まみれのアレがどんどん入つてきて  
太いのが……ずぶずぶ……  
ずぶずぶ……つて入つてきて……

吾輩は……、うう……  
あやつの魔力が流れ込んでくるのを感じての  
挿れられただけで、また……  
主人公の反応に少し落ちつく

……お主のおちんちん……ひくひくして……  
ちよつと、安心するのじや……  
あやつのアレが、お腹で、ピクピクンして動くのを眺め出しつづると……  
お主の……小さくて安心するのじや

独白する感じ

余り感情を乗せずに

吾輩がどれだけ声をあげても  
それでもあやつは止めてくれないからの  
身体を押さえつけられて……  
身体が言うこと聞かなくて……  
背中が反つてしまつて……  
頭がおかしくなつてしまふつじやつた  
あやつのアレ……

お主とのセックスでは届かない所まで  
奥のほうまで入つてくるんじや

子宮の入り口を身体の芯までグリグリとされるような感覚じや……  
あやつ、小さい吾輩の身体をまた道具みたいに扱つて  
何度も……何度も……  
づぶづぶ……づぶづぶつて  
吾輩の事……

最後、多少声を震わせて

気づいたら、あやつが荒い息で吾輩の事抱きしめておひつての……  
アレが、あやつのおちんちんがお腹の中でドクンドクンつてして  
精液がびゅ、びゅってお腹の中へ吹き出してるのを感じたんじや  
でも、すぐ良かつたと言いかけてやめる

うん、吾輩、大嫌いなアイツに中で出されてしまつたんじや  
大嫌いで……嫌なハズなのに……  
でも……

主人公の反応に我に返る  
作業的に準備する

【近】

ん……お主の方も精が昇つてきおつたの  
今、ティッシュを出すから、ほれーに射精するのじや  
え？ 今日は飲んでくれないのかつて？  
ああ……

事務的に、機械的に説明

【近】

あやつ、勇者から貰つた魔力を溜めているから  
お主からも魔力を貰うとなると  
溜める魔力の波長に食い違ひが出て……  
とにかく効率がわるいのじや

分かつて欲しいと、少し感情的に、説得するように  
あやつから貰う魔力に比べたら、お主からの魔力は微々たるものじゃしの  
誤差みたいなものじゃ

同じ理由でお主と身体を重ねるのも良くないが……  
「うして手で処理してやる」とはできるやつ……  
攝取してやることは出来ぬが、毎回「うしてナイシッシュで受け止めてやるか」  
しばらくはガマンして……

出そようと感じ、話を止めて備える

の

ん、でるか、よいで

主人公射精、余り勢いも無く、がつつく感じの無さに安心して少し笑顔が浮かぶ  
ん、あつ、あつ、でた、の

ん

おわり、か?

よし

えつ?

白々しく嘘をつく  
上ずつた声、早口で調子の狂つた否定

【近】

それで終わったのかつて?

ん、それはじやな……?

ん

そ、そ、そ、うじやよ

そうじや、それで、終わりじや  
それだけ。それだけじやよ

ああ

フヨラで口に一回

抱かれて膣内に一回

それだけじゃ  
それだけじゃよ

「うん……それだけじゃつたな……」

【腹/近】

えりげなく聞くよつに

それ、どの……？

あの……、毎つたよりも、最初に考えていたよりもな  
あやつと、勇者とまぐねつのは……魔力の回復に効果があつたんじや  
もし、もしジやよ

もし良かつたら……わつ一回だけ、な  
その、してみたこと回つたら……ダメ、か？

ほ、ほんとかつ…

良かつたあ

早口で少し自慢するよつに

なあ、お主、これを見るのじや

魔力、今日一日でこんなに回復したのじやよ  
ほら、これ、大魔石じやぞ。それも、2個！

お主とどやつと半年ぐらいかかつた成果が2つやじやー

これが今日一 日で作れたんじやよ

これなら、思つたより早く必要な魔力が溜まへるつい

こんな屈辱も、もうすぐ、おわりじや

もう少しだけガマンすれば

お主にもお輩の眞の姿を見せてやれるやつ

【Track7】やれやれ魔眼の世界 2

姫のマーラJK

巨乳/爆乳

罪悪感より元の身体を見せたらしい欲が強い  
戻つたれへ

巨乳/近

なあなあ、お世、見てくれ、見てくれ！

じうじや吾輩の身体つい..-.

ふふふ、驚いたか？

シテの部分だけ罪悪感を感じてよどむが  
直ぐに元の調子に

あやつと、やの、……シテの

吾輩の身体、魔力に溢れてきて、だいぶ大きくなつたへんじゃー。

ほれ、胸もかなり大きくなつたし、背もだいぶお世に近づいたれへー。

もちろん、まだ100ペーセントではないが

魔力も十分じゃし、今なら簡単な魔法ぐらくなつか使えるはずじゃんか  
ん、なんじゃい。

あ、吾輩の「」の格好か？

ふふふ、かわいいじゃねー。

あやつが用意した、女子校生の制服とふくヤンジやつ

「」の世界では今の吾輩ぐらの背丈の少女はみんな「」ハコのを着ている、ハコのハ  
胸の所は、へつ……わくキシシカ……

吾輩もなかなか気に入つていてねるや

呆れた調子で、冗談を言つよ

あやつめ、こういう服を着たおなじが好みらしくてのう

吾輩を着せ替え人形の様にして遊ぼうと思つたのか

勇者のやつ、今回は沢山こういう着替えを用意してきおひたのじや

うむ、この制服もそのうちの一つじやな

コスプレ……とこういっしの

吾輩も色々な服が着られて、そりは少し楽しかったぞ

ん、どんなものがあつたのか、じやと?

ふむ

他にも違う学校……? こういう制服がたくさんあつたし  
体操服にナース服や水着……、バーネ服なんてもあつたの  
まつたく、奴め、あんなものどいで手に入れてくるのやら

ああ、着替えては抱かれて、着替えては抱かれての繰り返しじや

何度も何度も、前回があんなじやつたし、7時間パックでホテルに入ったのにあつといつまの時間じやつたわ

あやつめ、まるで発情期のゴブリンのように盛りおつて

どにあんな性欲がつまつてゐるやう

まあ……、そのおかげで吾輩もこまで魔力を取り戻せたのじやがな

……こまでの魔力……

……お主とだけだったら軽く100年は掛かっていたかもしだれぬな  
え、何回射精されたのかじやと?

罪悪感が湧いてくるがこまかそつとする  
ちよつと早口に

……ん

そ、その話はいいじやろー

今は、この服の話しじやつ

きよ、今日も、その、手ですか?

良いぞ良いぞ、吾輩の身体も大きくなつた事じやし  
技術も、その、色々教えられて上達しているハズじやつ

うむつ  
さあさあつ

そしたら、下を脱いでそこに横になると感じたつ  
あれ、なんか小さいな。がっかり

……ふ  
む

自分を鼓舞するようにフオロー

相変わらず、お主のは勃起していくても可愛いのじや  
見ていて安心するぞ

ふふつ……

ほれ、吾輩も横に行くから、そこ詰めろ……

んつしょ【胸騒ぎ】

では、じーへーぞ

んつ、ぶぶつ

……こじょ……

んつ、エクつてしたのじや

ちよつとまたウキウキしてくる

あ、それで……

この服は……、えうじやな…………えつと

ホテルではなしじやな……

吾輩、裸のまま疲れて寝ておったのじやが

魔力が急剧に回復したせいじやな

気づいたら身体が大きくなつていて

前の服は入らなくなつていたのじや

それで、あやつが用意していた、「制服を貰つたといつわけじやな

うむつ……

ん？ その前が気になる、じやど？

あ、いや、特に

ただ、少しじゃれついただけじゃよ……？

細かいことを気にするでないつ

ふむつ

ま、まあ。そ、それでな

吾輩もそのまま、また抱かれると恥つたんじやが  
ホテルの方もチェックアウトの時間じゃつたからな  
そのまま部屋を後にしたんじやよ

気まずい沈黙

ん、それで解散じやつたのかじやと？

いや……

あやつ……

ホテルじや無くてもつと別の場所でもしてみたいと出でてな？  
ほ、ほ、ほりつ

「の服も貰つてしまつたからな。  
安くないんじやろ？」うこうの

白々しく、偉そうに

ウムつ

そういう負い田もあつて、吾輩もア承したワケじやなつ  
あつ、もちろん魔力回復の為もあるのつ  
ファイヤボールでツガイのガルーダを落とすといつヤシじや  
ウムつ

ホテルを出て少しの所にバスの乗り場があつてな

そこから一人で、バスに乗つて

その中で続きをしたんじや

あつ、もちろん、決めたのは勇者じやだ。

あやつ、チカンプレイ……？をするといつ出しての

吾輩は嫌だつたんじやが

あやつがどうしても、と叫つかりの？

うむ、あやつめバスに乗つてすぐに、後ろから抱きついできおいつての

気持ち悪く密着して、うなじに生温かい息を吐きながら  
スカートの中に、ぱんつの中に手を入れてくるんじや  
バスには吾輩と同じ様な制服の奴らが沢山おつてな  
吾輩、流石に恥ずかしかつたぞ

主人公の性器に反応があり、少し樂しくなる  
ん、ふふ……

たぶん、勇者のヤツが魔法をかけておつたんじやろうが  
吾輩は回りが気になつてしまつて、気が氣ではなかつたな  
女子校生、回りにいっぴいりのに  
吾輩だけが後ろから男に抱きしめられて、ぱんつに手を入れられて  
ちゅくちゅく、ちゅくちゅくつて音がしてしまつておつての  
回りの奴らの視線を感じる気がして、吾輩は……  
ん……？濡れておつたのかと？

少し負い田を感じたが

答えた瞬間どうでもよくなる  
告白する」とで快樂を感じた

……そうじやよ

あやつに、勇者のヤツに沢山オスを教え込まれたからの  
触られるまでもなく、吾輩……勇者の匂いだけで濡れてしまつんじや  
擬音はゆつくり、読み聞かせる様に

くちゅくちゅ、くちゅくちゅ

すごい音がしちやつておるのに

吾輩は知らん顔をして正面を見つめておつての……

すぐにブラウスのボタンも外され初めて、あやつの太い手が吾輩の胸をもみしだき始めたんじや

吾輩の胸、だいぶ大きくなつたじやろ？

指先で硬くなつた乳首をつまんで痛いくらいに激しく……の

ん……

お主にも吾輩の大きくなつた胸、見せてやろうか？

身体を離して前をはだける  
大きくなつた胸に自慢げ  
ちよつと待つておれよ

……ひとつ

どうじや。見違えたじやろ。

前は殆ど平らじやつたから、ふうつ  
本当の吾輩は、もつと大きいんじやよ  
ん、胸に赤い……キスマークがある？

ああ……

勇者のヤツ、乱暴に扱うから、その跡じやう  
吸つたり、揉みしだいたり、好き勝手にしておつたからな  
あやつ、吾輩の乳首を吸うときにはぞといかしく歯を立ててくれるのじや  
ふむ……

あ、お主もおちんちん、さびしそうにしておるな  
すまぬすまぬ、触つてやるぞ

【お経】×腰あ

再び身体をくつつけた  
ひとつ

ささやくように、再び独白  
少しずつ感情を入れて朗読し始める

そうして、吾輩は勇者のヤツに触られておひたのじやが  
そうしたら、後ろの……スカートが急にふわっとめくられて、風を感じての  
後ろからぱんつに、熱い物がピタリとくつひいたんじや

ああ、勇者の、おちんぽじやな

もう勃起しておつて、ぱんつ越しに熱くて汁っぽい感触を感じたの  
最初は吾輩をからかうみたいに、おちんぽ、一すりつけてきて  
ぬつかず、ぬつかず、つて

あやつのガマノホと吾輩の肌が音を立てて  
そつなんじや

あやつ、あんなとこで勃起したおちんぽを出したおひたのじや

吾輩も胸をもみしだかれながら、回りを見渡すが誰も気にもとめん

そうしてゐる内に、ぱんつのあいだからおちんぽがにゅる、と入つてくる感触があつての

溜めて、一〇〇やくわざく

吾輩におちんぽ挿入、してきたのじや

気持ちよさそくな声が

吾輩の中を満喫しているような吐息が後ろから聞こえてな

直ぐに、腰を振つておひた

ぱんぱん、ぱんぱんつて

肌がぶつかり合つて音が出て

吾輩も足腰がおぼつかなくて、

吊り輪につかまって立つてゐるのがやつぶつやつたよ

ただでさえ、その頭には魔力で溢れきつてゐるはいえ、疲れ切つていたから

ふむ

温まつてきて、感情がさいりにのる

吾輩、もつゝの頭はじぶんやよひくなつてしまつておひてな

オマ、ノン

気持ち良くて

あんつ、あんつ、つて声が止まらなくなつてしまつたやじや

えつちなお汁、止まらなくなつて

太ももにだらだら垂れてくるのを感じたな

吾輩も、じきに足が震えて立てなくなつての

勇者のヤツが乱暴に抱きかかえて、支えてきて

吾輩は何度も、何度も

思い切り腰を打ち付けられたんじや

ぱちゅん、ぱちゅん

ぱちゅん、ぱちゅん

何度も何度もじや

バス、止まって新しい客が乗つてきたりしてゐるのに  
何度も、何度も

ぱちゅん、ぱちゅん  
ぱちゅん、ぱちゅん

あやつ、どんどん腰使いが荒くなつてしまつての  
もうすぐ射精しそうなんだ～つて吾輩にも分かつて

吾輩、それが待ち遠しくて  
出して、出して～つておねだりしちゃつたんじや

勇者のヤツ、淫乱魔王め、つて吾輩の事侮辱しての  
ぶびゅつ、ぶぶくつ、ぶぶるるつて

黄ばんだ精液が吾輩の子宮に～つぱいそそがれて  
少し大きくなつたとはいえすぐには流れで

太ももの内側にぬるいのがだらだらつて垂れて  
バスの中に生臭い匂いが立ちこめたんじや

自分の話で喜んでくれたから、嬉しそうに  
んつ……お主もイきそうなのが……?

よいぞ

さあ、このナニヤシショウ田舎のじや

んつ、ぶぶつ

……あつ

……出たの

やつぱり可愛い

まるで小動物みたいじゃな

主人公の不安そうな顔に、不安になる

ふむ……?

なんじや、その顔は

吾輩があやつの……、勇者のものになつてしまわないか、心配なのか……?  
……ん

……そんなわけ……

……ん

止めたくないけど、自分にも言い聞かせ、自分とも約束するように言い切る  
そ、そうじやの

うむ、元々、あと一回だけと言つはなしじゃつたしな  
「これで、終わりじや

もうあやつとは……勇者とは……会わぬ  
魔族の王の名にかけて誓うぞ

約束じや

……ん

のう、お主

命令じや

吾輩をぎゅ～と……

体格差が狭まって、抱擁感、安心感がなくがっかりしてしまう  
あ……

……お主、小さくなつたな

……いや、吾輩が大きくなつたのか

……ん

……いや、なんでもないぞ

【近/画面】

なんか悲しくなつちやつたから逃げたい  
……ひ、今日はひ、色々あつて、疲れたな  
もつ寝るとしよう

Track8】<メモ>

声のトーン：大人の女性

トイレの中、フェラ中。始まつてからそれなりに経つていて  
クリスマスデート時を彷彿とさせる、大好きな相手と話す時の魔王  
主人公を呼ぶように、お主と勇者を呼ぶ

もつとお、んう♥ ちゅば♥ ちゅば♥ じゅるる……♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥  
ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥ ちゅば♥  
ぶぼ♥  
ふふつ♥ とつても元気なのじゃ  
さつき吾輩の中にあれだけ中出してくれたのに  
もうガチガチのバキバキになつてゐるのじゃ

A -

また欲しくなつて……  
吾輩も濡れできちやつたのじやよ……

ん、勇者よ、お主それ……

なんで、オチンボレしゃぶつてる吾輩にスマホを向けて何してるんじゃ？

お主が呼んでくれれば……

お主の精液なら、吾輩が全部出してやるからのつ  
♥

れろお ♥ ちゅ。ふ。……

ぐぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぶぼつ ♥ ぐぼつ ♥

んつ……え? 動画を……撮って、あがつに送る?

そ、それはつ……だ、だめじや!

もう、撮っているのかつ……?

違つ、これは、違うんじやよつ。

一転して媚び媚びに

えつ?

勇者み

じゃあ、しぶぶのを止めて良いくじやんじ?..

それは、もつと嫌じやー

勇者み

もつとオチンボ、しゃぶひたじのじゅ

あつ ♥ んつ ♥ じゅるるい ♥ ちゅ。ひ。んちゅ、んちゅ ♥ ちゅるる

ちゅつ ♥ ちゅぱつ ♥ ちゅつ ♥ ちゅつ

ぐぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぶぼつ ♥ ぐぼつ

ぶぼつ ♥ ぶぼつ ♥ ぶぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぐぼつ ♥ ぐぼつ

んつ ♥ ふつ .....

少しだけ罪悪感

えつ……、あつ

今日つて、クリスマスなのか?

それがどうしたんじや?

あ……

すまぬ……約束……忘れておつた

また今年も一緒にあのツリーを見にいきつた……言つてたのに

ちゅつ ♥ ちゅぱつ ♥ ちゅつ ♥ ちゅつ

でも、仕方が無いんじや

勇者が、吾輩を抱いてくれる

セックスしてくれるっていつから  
つい……夢中になつてしまつたのじや

「」で自分の気持ちに気づき、罪悪感が消える

あやつとの約束は大事だけど……

でも……吾輩は、勇者とのオチンポの事も好きなのじや  
ねろ♥えろ♥れろれろ……♥んぐろ♥えぐる♥るちゅ♥ちゅる♥ちゅる♥ばくら♥ばくら♥

え……どつちの方が好きなのかつて……

それは……もちろん

お主の、勇者のオチンポじゃよ？

わざと好きな人（主人公）を無視して気を引こうとする様な

意地悪な態度

当然じや……

あやつは……ただのショベジやしな

ふふつ

今、勇者のオチンポ、ピクつてしたのじや  
あやつには申し訳ないとは思つけど

それは……当たり前だし仕方ないのじや  
ツリーなんか見ていても気持ち良くないし  
どうせだったら、ずっと

勇者と……お主のオチンポと週げしたいのじや  
スマホ越しの主人公に語りかける  
嫌われるという恐怖を克服し、強がった様な声色

この動画を見ているなら……

のう、お主

約束、すっぽかして……すまんかつたな  
ふふつ、「」が分かるか？

吾輩が働いていた居酒屋のトイレじや

お主に初めて吾輩の真の姿を見せた場所じやな

どつじや？

吾輩の身体、また大きくなつたぢやない？

背も……胸も……

これが吾輩の……真の、眞の姿なんぢやよ

背格好もそつじやが、一いつの勇者のオチンポを跨える姿もな

ん……♥ んちゅぽつ♥ ちゅるぽ♥ ぽちゅ♥ ちゅふ♥ ちゅつ♥ んぼ♥ んぼ♥ んぼ♥ んぼ♥ んぼ♥ ぶぼ♥ ぶぼ♥ ぶぼ♥ ぶぼ♥ ぶぼ♥

ぶぼ♥ ぶぼお……つ♥

ふはつ……♥ はあ……♥ はあ……♥ お主と約束したぢやろ？

もう勇者と会わないので

一応、吾輩も頑張つたんぢやよ？

でも……」の……勇者のオチンポが忘れられなくて

あの約束の後、一週間も持たなかつたのぢや

勇者に電話して、オチンポハメて欲しいでお願いしたのぢや

その後も……ずっと、ずっと

お主に内緒で会つていたんぢや

お主と暮らしながら、時間を見つければ

バイトに行く、急にシフトが入つたって、何度も言つてたぢやろ？

あれ、全部嘘なんぢや

バイトなんてとつぐに辞めてて

勇者と会つて、オチンポをハメて、しゃぶつておひたのぢや

んふふつ

ほれ、「これを見るのぢや

お主と違つて、勇者のオチンポは大つきくてたくましいのぢや

オマンコに入れると、すりごく気持ちいいんぢやよ

といても、す「いのぢや

ほれ、見てみよ

精液、太ももに垂れてくるぢやろ？

ここに来る前も勇者とハメまくつていたんぢやよ

ん、勇者よ、イきそつなのか？

好きなだけ射精するが良い

吾輩はもはや、貴様のものなのだからな

んつ、はあ……はあ……す”ル

ハセガワ・アーチ

……つ  
♥ すゞい魔力

おじいちゃん

口で譲ると、いつかやがうのじや

?

今 吸い出しちゃるぞ……

んつ、あつ…………勇者よ

どうしてや?

そんなにしゃない立た上かで

もちろん良いが

だが「こんな狭いと」ころではなく  
場所を変えてもつと交わるとし

ん？ なんじや？

ふふつ、そうじやな  
すまぬが、今日は帰れそうにないのじや

勇者のヤツが、吾輩と夜通しハメたこと三つておるから  
吾輩も勇者とセックスしたいし、そっちを優先するのじや  
んつ、これ勇者、話してる最中に胸を揉むなつ……  
これから、吾輩は勇者とホテルに行くからなの……  
ああ……えうじや

一人の、クリスマス、寂しかろうつ。

お主はこの動画でオナニーでもすると良いのじや……  
吾輩と勇者から、お主へのクリスマスプレゼントがよみ  
吾輩と勇者がホテルでセックスしている間  
お主はこの動画でオナニーをするといいのじや

#### 【動画】

わざやく、かわいく

メリークリスマスつ

## 嘘のアーネスト大人の女性

アーネ

感情薄く、達観したように  
目が覚めたか?

お主、だいぶ疲れた顔をしておるな  
こんな所で居眠りするまで

吾輩がいつ帰つてくるかと、ずっとと待つていてくれたんじやな  
あんな動画を見せつけられたところに  
……お主は相変わらずじやな  
ほれ、外はもうもう曇過ぎじやが  
クリスマス、終わつてしまつたな

昨晩あれだけ浮かれていた町も、嘘の様に……  
夢を見ていたように静まりかえつておるが  
ん、戻つてくれたのかつて?

……うむ……わうじやな……

今日はな、お主に謝りにきたんじや  
お主には、たくさん嘘をついてしまつたからな  
全部正直に話して、そして謝ろうと思つたのじや  
なあ、聞いてくれるか?

吾輩の嘘、してきたこと、全部

お主を傷つけてしまふかもしれぬがな  
それでも、聞いておいてほしいんじや  
吾輩はな、いまだ、お主の事が大好きじやそ  
でも、だが……それ以上に

今は勇者の事が好きで好きでたまらないんじや  
身体も、心も全て勇者のヤツに捧げたいと思つておる

お主に注ぐ愛情が一滴も惜しいほどにな  
だからの……?

「」で全て話して

お主と暮らした思い出と昔の自分に謝つて……そしてサヨナラを言いに来たんじや  
だから、吾輩がお主に隠れてしてきただ」と

お主の田を盗んでは勇者と交わって

お主に嘘ついては勇者の精を受けてきた話、全て聞いてくれるか?

悪戯っぽく笑い、主人公を触る

ふふつ……勃つておるの

「」ちも、相変わらずじや

……吾輩のヒミツを想像して勃つてしまつたのか?

お主の心はどうあれ

身体は……この、お主の勃起したおちんちんは話を聞きたいと思つてこる様じやな  
おちんちん、パンツの中で苦しそうじやな  
今、出してやるぞ

ふふつ……

本当に元気じやな

懐かしみ、若干後悔の色を浮かべながら

右／密着】※腰を

吾輩も最初はな……

最初は、本当に勇者のヤツの事が嫌いで……嫌でしょうがなかつたんじやよ……?

抱かれたい、なんて考えてもみなかつた

それでも、魔力の為、お主の為と自分に言い聞かせて、ガマンして、勇気を出してあの口会つてみたんじや  
そうか……そこから吾輩は嘘ついていたんじやな

吾輩の最初の嘘はそ」

魔力の為、魔族の為、なんて大それた事を抜かした事じや  
もちろん、全く考えて無かつたわけではないぞ

だが、それは自分に言い聞かせてただけの、照れ隠し  
一番の理由は「」の身体

本当の姿をお主に見て貰いたかつたんじやよ  
小さな身体のままじや、お主の両親に挨拶する」ともできぬからな  
吾輩も……少しば可愛いところがあつたじやろ?  
語調を戻す

もう、「こんな事を聞いてもなんの意味も無いが  
どうじや? 成長した吾輩の姿

惚れ直したか? ふふつ

だが……勇者と再会して

あやつの大きな、勃起したオチンポを見せられてな  
そんな気持ちも、一瞬で薄れてしまつたんじや

そんな先の事より

うつとりと

もつと近くで見たい、触りたい、嗅ぎたい、味わいたいってな

実際に勇者のオチンポに触れて

口で奉仕して、精液を口と顔で受けて

あの時の吾輩はもう、お主の事さえ忘れておつたな  
だから初めての本当の精液の味に伸びてしまつて  
勇者にベッドに運ばれている間も……

ず一つと幸せで

入れて、早く入れてつて

オマ、ン「うずいておつたんじや

淡淡と喋りながらも、思い出して身もだえする

実際、初めて入れて貰つたオチンポ

太くて、大きくて、硬くて

入れて貰つて、いるだけで

まるで天国にいるみたいな心地じやつたな

……本番、一回だけしたつて言つたじやろ?

あれ、嘘なんじや  
気づいておつたか?

一回セックスしてな

精液中に出して貰つたら、気持ち良すぎての

自分の中に精液からにじみ出でてくる濃い魔力の感触

そのトリコになつてしまつたんじや

勇者の方は一度出して終わりなんてハナから考えていなかつた様じやからな

端ぎ部は棒読みで

吾輩もそれに甘えて、次の二回も、吾輩  
動けないフリを続けてして、犯してもらつたのじや

あん、あん、おん、だめ、だめ、やめてつて

下手なおしばいで拒否しての

でも、オマンコはキュンキュン締めて喜んで

勇者のヤツを喜ばせておつたんじや

何回か中に射精して

勇者のヤツも、吾輩のしづかにじきにづいたみたいじやつたな

吾輩、すぐ濡れちやつていたからな

勇者のヤツ、意地悪して浅いところでオチンポ止めてきたんじや

自嘲氣味に笑いながら

吾輩もプライドがあつたから必死でガマンしてたけど

結局5秒も持たなかつたな

吾輩、自分で、必死に腰を使い始めて

不器用に腰を振りはじめて

吾輩はあの時に、魔王の肩書きとか誇りとか、全部捨ててしまつたのかもしれぬな

それほどまでに心地良くて、とろけてしまつて

勇者のヤツはしたり顔で吾輩の事を見ておつたが

全く悔しくもなかつたな

腰を振る度に気持ち良すぎて、そつちに夢中でそれどいつもじやなかつたのじや

腰使いが下手くそだつて怒られて

勇者がまた腰を振り始めてからもの

それからは……、ずっとと吾輩もおねだりしていたぞ  
もつとももつとつて

オチンポの大きさとかだけじゃなく

勇者の技術もすばらしいんじやうな

こいつたでもむいりつでも、沢山女を抱いていた様じやからな

……ふふつ

そつして何度も何度も中に出されて

10回田の頃にはもう勇者の事が大好きになつてしまつたのじや

キス、拒んだつて言つたじやろ？

お主にしか許さないつて

その後な

吾輩からおねだりしたんじや

キスしてつて

勇者のキス

舌を絡ませてきて、吾輩の口の中を全部貪るみたいなキスじやつた  
じろじろで、ぐちやぐちやで

お主とのキス、忘れちやうくらいに濃厚だつたぞ  
初めてオチンポしやぶつたときみたいに  
頭が震えるぐらい気持ち良くての

勇者の唾液が口の中に入つてくるだけで幸せになつて

もう吾輩、キスの事しか考えられなくなつてしまつたんじや

夢中になつて、勇者の絡んでくる舌に答えたのう

勇者はキスしながら吾輩に覆いかぶさつて

ばちゅん、ばちゅんつてオチンポ突いてきたのじや

キスとセックス、どつちもおかしくなるくらい気持ち良くて

吾輩、途中から奉仕もわすれて一方的に勇者に攻められておつたよ

それで、キスの合間に

勇者が吾輩の事をメスオナホにしてやると聞いて出しての

オナホって、あの「**アフリ**」した男の性欲を処理する道具じゃろ？  
勇者の性欲を処理する道具と聞いてな

吾輩、嬉しくなつて  
してください、おねがいしちゃつたんじや

あなたのオチンポ様にまいりました

今まで刃向かつてごめんなさい

あなたの道具になります

メスオナホになりますってな

認めた吾輩を褒めてくれるみたいに

びゅ、びゅうつて精液が流れ込んできてな……

屈服してから感じる精液の味、とっても甘くて濃厚じゃつた……

♡

考えてみれば、あの時、あの瞬間から  
お主は吾輩のシモべなんかじゃないんじやよ  
だつて、オナホにシモべなんて普通はおらんからな  
手を止めて笑う

【近】

……おつと、ふふひ……

まだ絶頂するには早いぞ  
せんぶ、話し終えていないのじやからな  
折角の時間なんじや  
最後までガマンして、聞いてくれよ  
ゆっくり手を動かし始めた

【近】

……ふむ……ふつ……

ラブホからの帰り道

一人でな

帰つてお主の顔を見てからもずっと

どうしよう？って考えてたんじゃ

勇者とのパパ活

一回だけだという約束をお主としどりたじゃろ？

もつとされてみたい、抱かれたい

勇者の精液欲しいって

帰つてからもずっとそんなことばかり考えておつた  
お主にあつたことを報告しながら

あつたことを隠しながら

次、して貰う」とばかり考えてしまつていたんじゃ  
お主が一回田を許してくれたとき、本当に嬉しかつたのう  
だから一回田は

最初から吾輩も発情してみたいに勇者を求めたよ

勇者のヤツが引くくらいにがつついで、オチンポを求めておつた  
会うなり恋人のようにならうに唇を重ねて

その後何時間もずつと

何度も何度も混じりあつたぞ

お主としたことのないプレイだつてした

勇者が望む」と

ヤツが喜ぶ」とは何でもした

言われるままに舐めて

されるままにオチンポを迎え入れたんじゃ

魔力が急速に回復して

身体が大きくなつてしまふまでな

10回を越えた当たりから数えなくなつたが

何度も、何度も、勇者の精液を受け止めたんじゃ

口で、顔で、胸で、尻で、子宮で

何度も、何度も

回復魔法も使いながら、何度も何度も、失神するまで交わったんじゃ

自嘲氣味に笑いながら

その成果か

膨大な魔力を手に入れて急に身体が大きくなつて  
吾輩は舞い上がつておつたな

やつと、完全でないにせよ、吾輩の眞の姿をお主に見て貰えるつて  
しかしな、お主はずつと不安そうで  
なんだか嬉しそうじや無くて

吾輩は良く分からなくなつてきてしまつたのじや  
ぱつりと、無感情に

もちろん、悪いのは全部吾輩なんじやつて  
分かつておるよ?

でも、なんだか身体が小さい時ほど心がお主に惹かれなくなつて……  
同じぐらいの背丈のお主が別人に感じる様になつてしまつたんじや  
お主と、これで終わらせるつて約束してからも……

お主と過ぐしている時間が長いと  
だんだんそれが吾輩にも分かつてきてしまつたんじや  
お主としてみても気持ち良くなくて  
お主と勇者を比べてしまつて

その後は昨日の動画で教えたとおりじや

吾輩、結局一週間ももたずに勇者のとこに戻つたんじやよ  
勇者のヤツ、吾輩の事笑つておつたな

淫乱女つて馬鹿にして  
でも、吾輩は腹もたんかつたよ

だつて本当のことじやしな

肉欲に負けて、大切な人を裏切つてしまつたんじやからな  
じやから吾輩

えへへって愛想笑いして

媚びくつらつておねだりしたのじゃ  
機嫌を損ねてオチンポを貰えなくなつたら大変じやからな  
命令もされてないのにヤツの股間に顔をくつづけて  
すりすりして、ファスナーを口で降ろして  
勃起し始めたオチンポを口にふくんで  
一週間ぶりのオチンポの味、すうごく美味しかったのじゃ  
結局

その日は一週間出来なかつた分たつぱりセックスしたな  
まる一日ぐらゐじやつたか?

バイトが残業でつて

帰つてこなかつた日があつたじやろ

その日じよ

吾輩が約束破つてセックスしてた日

勇者は大きくなつた吾輩の身体をじつくり味わうように  
何度も、何度も

体位を変えて交わつたの

身体が大きくなつてからお主とするとき、コンドーム使つてたじやろ?

妊娠しちゃうかもしねないからつて

一応、そのゴムを持つて行つたんじやが、勇者のオチンポは大きすぎてサイズが合わなかつたのじゃ  
お主の、ちつちやいからな

ふふつ

だから最初から、ぜんぶ、ずつと生で中出し  
もつとも、大きいサイズのを持つて行つた所で勇者も付けてはくれんかつただろ?がな

……ふふつ

勇者のやつ、身体が無駄にデカイじやる?

今考えると、お主と小さい吾輩ぐらいの差があつたな  
だから、勇者に抱かれているどどとか安心したんじやな

その後も、お主に隠れて何度もしたのう  
罪悪感があつたのは最初の数回だけ

どんどん勇者への愛情に上書きされていったよ

居酒屋のバイトもそれから直ぐに止めてしまったからな？  
する」となんて勇者とのセックストラウトかなかつたのじゃ

毎日毎日。

お主に隠れて

吾輩は勇者とずっとセックストをおひたんじやよ

お主は気づかなかつたようじやが

「の部屋に勇者を招いてした事もあつたな

お主が仕事にいっさいいる間

「」で

二人で裸になつて抱き合つてオチンポハメハメしたんじや

一度だけじやないぞ

何度も、何度も

ハメて、ハメて、ハメたんじや

そして抱かれる度に、精液を貰える度に

心も勇者に惹かれていたんじや

あのモンスターみたいな外見も、粗野で乱暴な性格も、全部好きになつていたのじゃ

それから、またいっぱいして

いっぱい精液貰つて

もう、取り返しがつかないぐらいに勇者の事が大好きなんじや

昨日も、そうしてずっとセックストをおひたかーのう

約束、忘れてしまつていてすまぬな

あの動画を見た後、お主はどうしておひた？

見ながらこの小さなおちんちんをしじらで、オナニーでもしておひたのか？

吾輩はな、明け方まで勇者とセックストラウトしていたぞ

キスして、舌を絡ませて

何度も、何度も、中に出されて

何度も、何度も、絶頂してしまつたの

ふふ、お主もそろそろかの

ちよつと待つておれよ

最後じや、この姿じやお主も寂しかろう。

少女魔王に姿を変える

魔のマーニロフババア

じよつじや。

お主と出合つた頃の、小さな姿じや

ああ、お主にはこの姿の方が良いと思つての

この姿で、ずっと一緒にいたものな

魔力が完全に戻つたゆえ、今の吾輩にとって姿を変える事など造作ない事なのじや

お主とは一年ぐら、この姿ですつといつよだつたから

たつた一年と少しの間ではあつたが

吾輩にとつてお主との日々は魔王として生きた500年の時より寒いある想いで出でひつたが

すまぬな

じやか、こりで終わりにして、無かつたことにしちまうたいぞじや

吾輩の身体も心も、もはや勇者のヤツのモノ

こつして話すのも、今日が最後じやるつ

ふふつ、ヒクヒクつ

じよつじや。

吾輩の手口ヤ、だいぶ上手くなつたわ

勇者のヤツに散々仕込まれたからな

ほれ、ツバをたらしてやるが

つばをたらす

んんつ……、べべ……

ふふつ……  
♡

すこし反応してくるぞ……気持ちいいか?

たつぱり味わつてくれ

吾輩からせべひじや

でるか……?

ふふひ……

精液、上がってきたな

ふふふつ、折角じや、お主の絶頂と共に

別れの言葉を贈ろう

主人公、射精

さよなら、元氣でな

精液、凄い量じや

今までで一番出たのではないか?

手で受け止め切れぬほど……

んつ……最後じや

お主の出した精液、飲んでやるう

んくつ、んつ、んつ……、ふはあ……

ふふつ、薄いが、とても美味しじや

さて、仕上げじや

優しい口調で

身体、動かないじやろ?

抵抗できないようにさせて貰ったのじや

声もでないはずじやよ

言つたとおりもう、吾輩はお主の前に二度と姿を現す事はないじやろ?

一方的ですまぬが、もう未練もないしな

お主にとつて、吾輩が居ない生活はつらいかもしれぬ……

そう思つたからな……

吾輩の魔王としての魔力で、戻つた魔力で

お主の記憶を消してやる事にしたんじやよ

大丈夫

全部無かつた」とになるんじやよ

吾輩と勇者の事だけ、綺麗さっぱり忘れて  
消えるんじや

ほら……やつくり日を閉じるんじやよ  
良い子じやな

丁寧にゆづくりと

吾輩と勇者の不貞も

出会つたあの日の吾輩も

吾輩のつたない卵焼きの味も

お主がクリスマスに誘つてくれた狭いトイレも

一緒に見た光り輝くツリーも

告白して、顔を赤らめた吾輩の表情も

初めて一緒に寝た日も——

すべて